

新緑の季節に訪ねるスコットランド周遊～ アイラ島・スカイ島とフィンガルの洞窟の旅



ダノター城(イメージ)

2019年 5月12日(日)発～5月24日(金)着…¥582,000
一人部屋利用追加料金 ¥75,000

ツアーのポイント

- 新緑の美しい季節にグレンコー、スカイ島などハイランドを巡ります。
- 「英国で最も素晴らしい景観路線」に選ばれているストラス・プラン鉄道に乗車します。
- メンデルスゾーンやジュール・ヴェルヌ、キーツ、ターナーなど多くの芸術家にインスピレーションを与えてきた自然の神秘フィンガルの洞窟にご案内します。
- ハイランドを代表する三大古城、崖に聳えるダノター城、絵画的なストーカー城、幻想的なアイリッドナン城を訪れます。
- スコッチ・シングルモルトのふるさと、アイラ島とスペイサイドを観光します。
- グラスゴー、オーバン、スカイ島、エジンバラの4都市に連泊です。
- ウォレス・モニュメント、セント・アンドリュース、ロスリン礼拝堂など、他にもスコットランドらしい訪問地満載です。



フィンガルの洞窟

フィンガルの洞窟はスコットランドのインナー・ヘブリディーズ諸島の無人島スタッファ島にある洞窟(海食洞)です。六角柱状の柱状節理が発達した玄武岩で形成されており、同じく古い溶岩流が発達した北アイルランドのジャイアンツコースウェイの柱状節理と同じ構造のものです。柱状節理は高温の溶岩が冷える過程で、六角形の割れ目が生じるためにできます。溶岩が冷えて縮むにつれ、ひび割れが表面から徐々に溶岩内部に伸び、六角形の柱群を形成されます。そして、これが後に波浪の浸食を受けて洞窟が形成された場所がフィンガルの洞窟です。

その大きさとアーチ状に曲がった天井、そして波のこだまが生みだす不気味な音色は、天然の大聖堂のようで、古くは「歌の洞窟」と呼ばれていました。この洞窟が知られるようになったのは18世紀ですが、特に観光地として有名になったのは、作曲家メンデルスゾーンが1829年にこの地を訪れ、洞窟の中の不気味なこだまに靈感を得て、演奏会用序曲「ヘブリディーズ諸島(フィンガルの洞窟)」作品26を作曲してからです。作家のジュール・ヴェルヌ、ウォルター・スコット、詩人のワーズワース、キーツ、デニスンらも訪れ、画家ターナーは1832年に「スタッファ島、フィンガルの洞窟」を描きました。メンデルスゾーンと親交のあったヴィクトリア女王もこの地を訪れたといわれています。

洞窟には大きな入り口があり、海水が満ちていますが小舟で入って行くことはできません。夏季のみ、遊覧船が運航されて、島に上陸して陸路で洞窟まで歩いていきます。柱状節理が割れてできた岩棚が満潮時よりも上にあるため、ここを伝って徒歩で散策することができます。洞窟内からは、水平線のかたに浮かんだ聖地アイオナ島の景色が楽しめます。



フィンガルの洞窟

スコットランドの魅力はハイランドにあり

英国北部のスコットランドは独自の通貨や議会を持ち、サッカー、ラグビーのワールドカップにも一國として出場する、ある意味での独立国です。

そのスコットランドではネス湖のある北部のハイランド(高地地方)とエジンバラやグラスゴーに代表される南部のローランド(低地地方)に分けられます。

ローランドの方が人口も多く、比較的イングランドの雰囲気に近い印象を受けますが、ハイランド地方は人口が少なく、雄大な手付かずの自然がそのまま残されています。

岩山が多いためごつごつとした荒々しさや、天候の安定しない寒々しさがとても印象深い土地ではありますが、幻想的でなぜか暖かく、何でも訪れてみたい気持ちにさせてくれる不思議な場所です。今回はそんな魅力的なスコットランドだけに滞在し、有名な訪問地に加え、通常のツアーではなかなか訪れることのないウイスキーの島・アイラ島、伝統文化と美しい自然のスカイ島、断崖に残る廃城・ダノター城などにも足を伸ばします。

「景観そのものが心の琴線に触れる土地」スコットランドの魅力を凝縮したこのコースに是非ご参加ください。



スカイ島(イメージ)

ご旅行条件

- 募集人員/18名様定員
- 最少催行人数/10名様
- お食事/朝食11回[スコティッシュブレイクファスト]・昼食1回・夕食9回
- ※天候不順なスコットランドでは、お天気を見て滞在時間を変更しますので、昼食は含めておりません。現地にてフィッシュ&チップスなど軽食を添乗員がご案内します。
- パスポート残存期間/出国時3ヶ月以上
- 成田空港使用料/¥2,610(別途必要)
- ※羽田空港の場合は¥2,570
- 国際観光旅客税[出国税]/¥1,000(別途必要)
- 旅行代金には、海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。
- 弊社では燃油サーチャージを別途徴収いたしません。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス[ご自宅～空港～ご自宅]
- ※ビジネスクラス利用追加料金はお問合せください。
- ※成田発着¥10,000引き
- ※大阪・名古屋・福岡発着:千歳発着と同一料金

ご利用予定ホテル

- グラスゴー/ジュリーズ・イン、グランド・セントラル、メルキュール
- アイラ島/ジ・アイラ、ロックサイド
- フォート・ウィリアム/ベスト・ウエスタン・インペリアル、アレクサンドラ
- オーバン/ザ・ロイヤル、グレート・ウエスタン、キングス・ノール、コロンバホテル、オーバン・ベイ
- スカイ島/ボスヴィル、ポートルー
- インヴァネス/アルドコンネル、ロイヤル・ハイランド、シスル、ラマダ
- アバディーン近郊/アバディーン・アルテンズ
- エジンバラ/ロイヤル・テラス、ホリデイ・イン、エイベックス・インターナショナル、ラディソン

※上記ホテル又は同等クラスとなります。
※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになれるよう万全の手配努力を致します。
※表記の「区印」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。区印の食事は含まれておりません。

日次	都市名/スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳 ± 成田 ± グラスゴー [トランク無料託送サービス] 朝、千歳空港より、航空機にて、成田空港へ。 午前、成田より、ヨーロッパ主要都市を経由し、スコットランドの中心都市で産業革命の街・グラスゴーへ。 グラスゴーに連泊 です。 [グラスゴー泊] 区印
2	グラスゴー(ウォレス・モニュメント) 午前、専用バスにて、スターリング近郊に位置し、スコットランドの英雄ウィリアム・ウォレスを記念して建てられたウォレス・モニュメントへご案内します。 午後、グラスゴー市内観光。ゴシック様式の美しいグラスゴー大聖堂、イギリス最古の大学の一つ・グラスゴー大学などへご案内します。 [グラスゴー泊] 区印
3	グラスゴー 車 アイラ島 午前、専用バスにて、キンタイア半島を経由して、ビートの香り豊かなアイラ・モルトウイスキーのふるさとアイラ島へ。 着後、海の香りを含んだ豊かなピート香で人気のシングルモルト・ウイスキー蒸留所巡りをお楽しみください。 [アイラ島泊] 区印
4	アイラ島 車 オーバン 午前、ひきつづきアイラ島をご案内します。アイラ・モルトの蒸留所訪問やキルダルトン教会跡にて、スコットランドの初期キリスト教のハイクロスもご覧いただけます。 午後、フェリーにて、ケレラ海峡に面したハイランドの港町・オーバンへ。 オーバンに連泊 いたします。 [オーバン泊] 区印
5	オーバン(マル島)(スタッファ島[フィンガルの洞窟]) 終日、フェリーにて、インナー・ヘブリディーズ諸島の、野鳥と巨石文明の島・マル島と無人島スタッファ島の『フィンガルの洞窟』へご案内します。フィンガルの洞窟では1時間ほど下船いたします。この六角柱は満潮時でも海面よりも高い為、洞窟内も歩くことができます。そのスケール、アーチ状の天井、こだまのように響きわたる波の不思議な音は、まるで自然の大聖堂のようです。 [オーバン泊] 区印
6	オーバン 車 ストーカー城 グレンコー 車 スカイ島 専用バスにて、ハイランドツアーを楽しみながら、今も残るゲール語の世界・スカイ島へ。 午前、リニ湾に浮かぶ絵画的な古城・ストーカー城(外観)をご覧いただき、その後、「スコットランドのアルプス」と呼ばれる雄大な原野と美しい緑の谷が広がるグレンコーを走り、スコットランド最高峰ベン・ネヴィス[標高1,344m]の麓の町フォート・ウィリアムに立寄りませう。 午後、専用バスにて、ロヒー湖沿いに走り、スカイ島との海峡に面したカイル・オブ・ロソアルシュへ。その後、伝統文化が今も残るスカイ島へ。 スカイ島に連泊 です。 [スカイ島泊] 区印
7	スカイ島(ポートルー) 終日、「翼の島」スカイ島の観光。切り立った岩山が見事なオールドマン・オブ・ストーールの眺望や、キルト・ロックなど雄大な自然をご堪能ください。天候が良ければ、エメラルドグリーン色の美しい妖精のプールへご案内します(往復1時間強の道をハイキングいたします)。また、パステルカラーの港町ポートルーの散策もお楽しみください。 [スカイ島泊] 区印
8	スカイ島 車 アイリッドナン城 車 ストラス・プラン渓谷 車 インヴァネス(ネス湖) 午前、ロソアルシュ海峡の橋を渡り、幻想的なアイリッドナン城(外観)に立寄り、カイル・オブ・ロソアルシュから列車にて『英国で最も素晴らしい景観路線』に選ばれたハイランド地方のストラス・プラン渓谷を走り、ハイランド地方の中心地インヴァネスへ。 午後、専用バスにて、ネス湖畔の廃墟と化した古城アーカート城へご案内します。美しいネス湖とのコントラストが見事です。 [インヴァネス泊] 区印
9	インヴァネス 車 ケアンゴーム山 車 ダフタウン 車 アバディーン 午前、専用バスにて、古い太鼓橋が残るカーブリッジ村に立寄ったのち、アヴィモアにてケアンゴーム山に登山列車で登り、スペイ渓谷のパノラマを楽しみます。 午後、スコッチ・ウイスキーのふるさとスペイサイドの中心地・ダフタウンにて、スコッチ・シングルモルトの代表格グレンフィディック蒸留所にご案内します。[アバディーン近郊泊] 区印
10	アバディーン 車 ダノター城 車 セント・アンドリュース 車 エジンバラ 午前、専用バスにて、数世紀に渡り海岸の要塞で、崖の上から砕け散る波を眼下に見下ろすドラマチックな岬の廃城・ダノター城に立寄り、ゴルフの聖地・セント・アンドリュースへ。 午後、世界最古のゴルフコース「オールド・コース」や、セント・アンドリュース大聖堂をご案内します。その後、渡邊嘉一氏が現場監督を任せられた世界遺産「フォース橋」を車窓からご覧いただいたのち、エジンバラへ。 エジンバラに連泊 です。 [エジンバラ泊] 区印
11	エジンバラ(ロスリン) 午前、「世界遺産 エジンバラ旧市街」の観光。巨大な岩山の上に築かれたエジンバラ城、エジンバラの中心部が一望できるカールトンヒルなどを訪ねます。また、エジンバラ城と王室の宮殿とを結ぶロイヤル・マイルにて、のんびりとショッピングなどをお楽しみください。 午後、専用バスにて、世界で最も奇妙なキリスト教建築の一つで、エジンバラ郊外に位置するロスリン礼拝堂へご案内します。 [エジンバラ泊] 区印
12	エジンバラ ± 午前、ヨーロッパ主要都市を経由し、帰国の途へ。 [機中泊] 区印
13	± 成田 車 羽田 ± 千歳 [トランク無料託送サービス] 午前、成田空港到着。入国審査・税関検査ののち、千歳空港へ。 夕刻、千歳空港到着後、解散。 [区印]